

令和五年

新年のごあいさつ

公益財団法人 兵庫県身体障害者福祉協会

理事長

木村 佳史

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当協会は昨年、公益財団法人移行10周年を迎え、記念式典を開催しましたが、協会としては設立70周年の節目の年でもありました。設立当時は、身体障害者福祉法が制定され、初めての身体障害者実態調査が実施されるなど、戦前の救済対策から今日に至る障害者施策の黎明期だったわけですが、当時の先達たちはどのような思いでこの協会を設立されたのでしょうか。

残念ながら、当時の状況は明らかではありませんが、

先輩諸氏の粘り強い活動があったことは容易に想像できることであります。

ここ数年、福祉に関する様々な法的整備が進められています。障害者基本法の改正、障害者総合支援法や障害者差別解消法の施行など、障害者に係る法的整備の充実が目を見張るものがあります。このことは、当協会のみならず、県下市町団体、さらには全国の障害者関連団体の長年に渡る活動の成果ではないかと考えます。

もちろん、活動内容はそれぞれの団体や時代で異なっていたことですが、我々身体障害者は多くの仲間が楽しく集い、様々な事業に参加していたこと、そのこと自体が力となったように感じています。

設立70周年を経た今、こうした先輩諸氏の歩みを次世代に継承することが我々の役目だと考えます。

とを考えます。

昨年の10周年記念式典は、当協会の新たなスタートとして位置付けて開催したところでありましたが、幸い、ご理解をいただき、4団体に再加入いただくなど、より多くの仲間が集うところとなり、一定の成果があった一年となりました。

今後は、当協会の運営のより一層の充実を図る観点から、主体的な議論ができるよう理事・監事及び評議員のあり方、定員等について検討を進めていきたいと考えています。

最後に、記念式典立言、当協会の新たなロゴマークを公開しました。各団体でも積極的に活用いただき、皆様と一体感をもって、身体障害者の福祉の向上に取り組んで参りますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。本年が皆様にとってより良い年になりますよう心から祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和五年新春メッセージ

躍動する兵庫、新時代への挑戦

兵庫県知事

齋藤元彦

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症が広がりをみせてから三年が経過しました。これまでの経験と教訓を活かしながら、感染防止対策と社会経済活動を両立させるウィズコロナの時代に入ったと言えるでしょう。一方、混迷するウクライナ情勢等を背景にした物価高騰や円安が、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。

こうした変化の大きな時代だからこそ、受身になることなく、新たな挑戦を起こすことが大切ではないでしょうか。令和五年は「躍

動する兵庫」の実現に向け、果敢にチャレンジする年にしたいと思っています。

その一つは、新たな産業活力の創出です。中小企業やスタートアップが持っている既存の技術と地域課題とのマッチングを広げ、新たなイノベーションを生み出します。また、水素エネルギーの活用や中小企業のCO2排出量削減の支援強化など、脱炭素社会に向けた取組を加速させます。ドローンや空飛ぶクルマなどの次世代モビリティの社会実装にも挑みます。

また、兵庫が関西と瀬戸内の結節点にあるという好立地を活かし、両エリアをつなぐ大交流圏の形成をめざします。大阪・関西万博が開催される二〇二五年には、瀬戸内国際芸術祭も開催される予定です。県内各地をパビリオンに見立てて誘客する「フィールドパビリオン」を核に、関西圏域とは万博に関連した連携事業を、瀬戸内圏域とは芸術・文化等

をテーマにした連携事業を行えるよう、着実に準備を進めていきます。

若者の学びの場も充実させます。県立高校等において、魅力・特色あるカリキュラムの充実やICT化を進めることに加え、生徒ファーストの視点で、老朽化が進む学校の施設・設備や部活動の用具・備品等を改善します。中高生からのアントレプレナーシップ（起業家精神）教育も推進し、課題解決に主体的に取り組む力を伸ばします。

県政の推進にあたって、今年ももっとも大切にする姿勢は、現場主義の徹底と対話の重視です。私自身、引き続き積極的に県内各地域に足を運び、医療や交通、観光、教育など様々な課題について県民の皆さまと対話をし、施策につなげていきます。

皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

兵庫県身体障害者福祉協会

公益財団法人移行10周年(創立70周年)記念式典

令和4年11月30日(水) ホテル北野
プラザ六甲荘にて公益財団法人移行10
周年(創立70周年)記念式典を開催し
ました。

この式典は、公益財団法人移行10周
年(創立70周年)という節目に際し、
関係者の皆様に感謝の意を伝えること
もに、今後さらに結束を強め、ともに
歩み、身体障害者のさらなる福祉の増
進を図る新たなスタートラインとして
開催したもので、幸い県下各地から障
害者団体や市町の身障協会など80名の
方に参加いただきました。

来賓を代表して、齋藤兵庫県知事の
代理として兵庫県福祉部長の生安様か
ら暖かいメッセージをいただくことに
な、兵庫県社会福祉協議会会長の入江
様からは地域社会の様々な主体が地域
の一員として集結することや、連携す
ることの重要性についてメッセージを
いただきました。また、兵庫県議会議
長の小西隆紀様、社会福祉法人日本
身体障害者団体連合会会長の阿部一彦
様はじめ、多くの方々から祝電をいた
だきました。

記念イベントでは、兵庫県出身で吉
本興業所属のお笑い芸人、濱田祐太郎
さんをお招きし、視覚障害者でもある

濱田さんのライフスタイルや日常につ
いての漫談を披露いただき、鋭いツッ
コミと失敗談や自虐を含むお話で会場
は笑いに包まれました。

大谷副理事長の乾杯の発声の後、サ
クソフォンカルテットコパンさんの演
奏で会場はさらに華やかさが増しまし
た。一般的には珍しいサクソフォンカル
テットの編成で、坂本九メドレーやクリ
スマスメドレーなどを披露いただき、リ
ズムののって手拍子する姿も多く見ら
れ会場は大いに盛り上がりしました。

未だ、新型コロナウイルスの流行が
収束しない中、参加者の皆様には入口
での検温やマスク着用、アクリル板の
設置など感染防止対策に多数ご協力い
ただき、開催することが出来ました。
県下各地からご参加いただき、10周年
記念式典を開催できましたことを心よ
り感謝申し上げます。この記念式典を
契機に、より一層身体障害者福祉の向
上に尽力してまいりますので、今後と
もよろしくお願いいたします。



当協会の公式ロゴマークができました

当協会の新しいロゴマークを昨年開催した公益財団法人移行10周年記念式典にてお披露目いたしました。

みんなの声かけ運動でおなじみの赤いハートを背景に、兵庫県マスコットのはばタンと一緒に笑顔で車いすに乗った子、義足をつけた子、白い杖を持った子、手話をする子、補聴器をつけた子：当協会を支えていただいている肢体、視覚、聴覚の3団体や、地域の団体がそれぞれの垣根を超えて交流している姿をイメージしています。



今後は当協会職員の名刺や印刷物、県下に設置する自動販売機などに活用してまいります。また、当協会を支えていただいている障害者団体や地域の団体の皆様にもこの新しいロゴマークをご愛顧いただき、このキャラクター達のように笑顔で楽しく交流を図りながら皆様と一体となって様々な事業を進めてまいりたいと思います。

当協会へご連絡の上、積極的にご活用くだされば幸いです。

広げよう！ みんなの声かけ運動

「みんなの声かけ運動」

兵身協では、兵庫県が進める、だれかが街中で困っているときに声をかけて助け合う「みんなの声かけ運動」の実践と普及のさらなる拡大を図るため、普段の生活の中でできる範囲で実践に務める「みんなの声かけ運動推進員」登録制度や、障害のある方への接し方や支援の方法等を実践的に学ぶ「みんなの声かけ運動出前講座」を実施しています。

現在、県内約5,000人の方が推進員に登録され、それぞれの立場で実践いただいているとともに、出前教室については、多くの小中高校や各種企業・団体等において授業や研修の一環としてご活用いただいています。

ぜひ、みんなの声かけ運動推進員への登録及び出前教室の活用についてご検討くださいますよう、よろしく願います。

「みんなの声かけ運動推進員」

みんなの声かけ運動は、皆さんの身近な地域で困っている人を見かけたら、「何かお手伝いしましょうか？」などと声をかけてサポートしていただく自主的な活動に支えられています。兵身協では、こうした活動を地域で実践、応援していただく「みんなの声かけ運動推進員」を募集しています。

この推進員に登録していただきますと、障害者のサポートについて学んだり、意見を交換したりする研修交流会や地域でのイベント

等への参加案内などをお送りします。もちろん出席は自由です。推進員はなたでも登録できますので、ぜひ一緒に活動しましょう。

「みんなの声かけ運動出前講座」

皆さんが街中で困っている障害者を見かけたらどうしていますか。「なかなか声をかけにくい」「声をかけたいけどなんて言えばいいの?」「どうしたらいいかわからない」ということはありませんか。そんなときに役立つのがこの出前講座です。

出前講座では、障害者がどんなことで困っているか。どうしたら適切な支援ができるかなどを知ることができます。さあ、出前講座を受けて、勇気をだして声をかけてみましょう。

問合せ先

公益財団法人兵庫県身体障害者福祉協会
事務局

電話 078-242-14620



「みんなの声かけ運動」ポスター・絵画作品の紹介



誰かが困っていたら、皆が声をかけて助け合う「みんなの声かけ運動」
この運動を地域の皆さんに広く知ってもらい、
考えるきっかけになるよう、兵庫県内の幼稚園～高校生に
ポスター作品を募集したところ、例年を大きく上回る327点もの
素晴らしい作品が寄せられました。一部をご紹介します。
今年度のテーマは「誰もが暮らしやすい街をめざして」です。



幼稚園・保育園児



小学生





中学生





高校生



皆様、ご応募ありがとうございました。



第18回兵庫県障害者芸術・文化祭並びに 令和4年度兵庫県障害者福祉大会が開催されました。

去る11月26日に、たつの市総合文化会館アクトホールにおいて、第18回兵庫県障害者芸術・文化祭並びに令和4年度兵庫県障害者福祉大会が、県下の身体障害者、知的障害者、精神障害者とその団体の関係者など多くの参加を得て盛大に開催されました。

障害者福祉大会では、永年にわたり地域の身体障害者団体の育成、強化等に多大な貢献をされた方々へ当協会の理事長表彰が行われました。受賞された方々は次のとおりです。（敬称略）

受賞された皆様には、深く感謝とお喜びを申し上げます。また、表彰受賞者をご推薦いただくとともに、多数ご参加いただきました地域団体や関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

■地域身体障害者団体育成成功労者兵庫県身体障害者福祉協会理事長表彰を受けた15名

七村千里男	吉井さつ子
仲 真司	石原 隆男
松尾 正巳	森島 美幸
萩原スミ子	大傍 堅至
藤田 富子	加地 成子
竹平 秀夫	森山 修
中村 芳三	下井 隆
田中 董	

その他、「心の輪を広げる体験作文」「障害者週間ポスター」知事表彰をはじめ、公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会理事長表彰、公益財団法人兵庫県精神福祉家族会連合会会長表彰が行われました。

障害者福祉大会を間に挟み、芸術・文化活動を通じて障害者の自己実現と社会参加を進め、交流を通して共感と感動の輪を大きく広げることを目的に第18回兵庫県障害者芸術・文化祭が開催されました。

オープニングは、知的障害児者施設である赤穂精華園の皆さんによる力強い太鼓演奏「権現やんちゃ太鼓」に始まり、ダンスパフォーマンスやピアノ演奏のほか映像上映などが行われ、会場は大いに盛り上がりました。出演者の方々ははじめ、支えてくださった多くのボランティアの皆さん、ありがとうございました。



令和4年度障害者 防災ピアリーダー 研修会を開催しました

近年、激甚化する水害や来るべき南海トラフ地震に対し、県内障害者の自助力（防災意識）を高め、早期避難の徹底を促すため、県内市町の身体障害者団体の長等を対象にした防災ピアリーダー研修会を開催しました。この研修会は令和元年度から4回目となります。

①「自助力強化（防災意識）推進事業について」

講師…兵庫県防災支援課防災企画班 岡田 真裕美氏

自助（日頃の備えと早期避難の徹底）と、共助（個人避難計画の作成、近所との繋がりの大切さ）、公助（避難行動要支援者名簿の作成、避難支援関係者への共有災害発生時、医療・福祉への繋ぎ等）についてそれぞれ説明いただきました。

②「防火・防災の話」

講師…神戸市消防局市民防災総合センター 市民研修係長

他谷 和巳氏

まず初めに、南海トラフ地震と水害それぞれの兵庫県での被害の予想と特徴を説明いただき、正しい避難行動を教えてくださいました。また、地域の

災害情報の受け取り方やハザードマップ、避難所の確認方法を教えていただいた後、VRゴーグルを装着して災害体験を行いました。

VR動画は大雨による洪水を再現しており、三部に分かれた構成でした。最初に住宅地の道路での通常の雨の様子、次に雨水が氾濫し靴がつかなくなる道路、最後には水位が20cmくらいになり、斜面の上から岩や木片が流れ落ちてきて、最後には背後の山が土砂崩れを起こして大量の土石流とともに木や車が襲ってきます。

VRは、ゴーグルをつけると360度映像が投影されるので、下を見ると泥流が、振り返ると崩れる山が見え、臨場感ある体験ができました。

視覚障害者が体験される際には職員と一緒に動画を見て、横で映像の説明をしながら体験していただきました。皆さん体験の後は感想について話し合い、時には「過去にもっとすごい体験をした」とご自身の経験を話されたりと活発に意見交換がなされました。



第29回 兵庫県身体障害者 グラウンドゴルフ県大会

令和4年10月18日（火）、三木総合防災公園第3球技場において、第29回兵庫県身体障害者グラウンドゴルフ県大会を開催しました。

天候にも恵まれ、県内各地から11チームが参加しました。参加人数は、選手60名、介助・ボランティア等14名、役員・スタッフ等29名の総勢103名。

オープン参加のチームも含め、皆さん大いに楽しまれ交流を深めることができました。

競技結果は左記のとおりです。（敬称略）

団体の部

優勝 三木市チーム

準優勝 さんだBチーム

第三位 南あわじ市南淡支部チーム

個人の部

優勝 向井 清美（さんだBチーム）

準優勝 谷 和義（丹波春日チーム）

第三位 永楽きしる

（南あわじ市南淡支部チーム）



第29回 団体優勝の
三木市チーム



表彰式



競技風景



整 列



開会式



各市町の取組報告

令和4年度加西市障害者
3団体合同レクリエー
ション大会がありました

令和4年12月3日、加西市民会館において障害者3団体合同レクリエーション大会が開催されました。3障害とは、身体、知的、精神の3障害という意味で、加西市では各障害別団体に声掛けし開催する取り組みをしています。

当日は加西市長や加西市社会福祉協議会の会長から祝辞をいただきました。その後、参加者による輪投げ競技やスプーンレースなどを楽しみ、歌謡ショーで合唱、最後は福引をする等、参加者全員が楽しむことが出来るレクリエーション大会となりました。コロナ禍で、開催は2年ぶりでしたが、参加者も多く集まることができ、盛況に終わることが出来ました。

全国旅行支援で超お得！



カニファミリーコース
平日1泊2食 1室2名様利用
大人お一人様（障がい者手帳をお持ちの方）

全国旅行支援利用で

¥12,500（税込）

ご利用いただけます！

＜お品書き＞
カニすき・お造り（旬のお魚）
カニ味噌・カニ雑炊・フルーツ

※共通クーポン最大2,000円が付いてさらにお得！
※登録は全てこちらにおまかせください

※公式ホームページはこちらでご覧いただけます！

浜坂温泉保養荘
☎(0796)82-3645
〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775



障害者 はっとライン

障害のある方、ご家族の方の
総合相談です。

TEL:078-230-9545

FAX:078-230-9553

shogaisha110@hyoshinkyo.jp

毎週/月～金 9:00～16:30

（祝祭日、年末年始を除く）

障害者のための 弁護士・福祉専門職による 無料法律相談

法律の関わる問題について
弁護士、福祉専門職と三者同
時通話システムを使って、
無料でご対応します。

TEL:078-362-0074

FAX:078-362-0084

毎週/火・木 13:00～16:00

（祝祭日、年末年始を除く）

ひょうご お問い合わせ 障害者スマホ・ パソコン相談室

TEL:078-855-8772

FAX:078-242-4260

メール: digital@hyoshinkyo.jp

毎週/月・火・水・金

10:00～16:00

（祝祭日、年末年始を除く）